

全経1級 会計 4問類題工事契約

CMC建設（当年度決算：令和3年3月31日）は、価格確定契約により横山ビルと藤沢ビルの建設工事を請け負っている。両契約とも、取引開始日においてそれぞれが単一の履行義務とみなされ、CMC建設が一定期間にわたってそれぞれの履行義務を充足している。履行義務の充足に係る進捗度はINPUT法（原価比例法）によって合理的に見積もることができると判断された。

以下の資料に基づき、当会計期間における完成工事高、完成工事原価および完成工事総利益を求めなさい。

[資料1]

(単位：千円)

	横山ビル	藤沢ビル
着工日	令和1年8月1日	令和2年6月1日
引渡し予定日	令和4年7月31日	令和3年10月31日
請負価額	300,000	400,000円
請負時の見積工事原価総額	200,000	300,000
前期までの発生原価	60,000	
当期までの発生原価	90,000	195,000

<解答>

	横山ビル	藤沢ビル
完成工事高	45,000	260,000
完成工事原価	30,000	195,000
完成工事利益	15,000	65,000